



新任の御挨拶

貝塚中学校区育成委員会
会長 小塚 興作

これまで関塚会長の許で千脇和夫様と共に副会長として勤めさせて頂いておりましたが、この度、関塚昭男様が会長職を御勇退されるに当たり、今年度の育成委員会総会において後継の会長として承認されました小塚です。小さい塚と書いて「おづか」と読みます。

新たな職責に、心配は常に付いて回りますが、副会長をお願いした日暮 様と川名 様のお二方は、本校のPTA会長を勤められた経験と実績のある優秀な方々なので、何事においても心強い相談相手となつて頂けると信じております。貝塚中学校は請願校という珍しい成り立ちの中学校であり、地域との結び付きを大切にしてきた学校もあります。これからも地域ぐるみで、児童生徒の健全育成を図つて行くよう、微力ながら精一杯任期を全うしたいと思っています。委員の皆様方、そして地域の皆様におかれましても、より一層のご協力を賜りますよう、心よりお願いを申し上げ御挨拶とさせていただきます。



継続・伝統・感謝

北貝塚小学校
相坂 孝一

学校は、「できない」を「できる」にするところ、と子ども達に話したことがあります。「できない」とは、はずかしいことではありません。今はできなくても



桜木小学校
渡邊 亮

役員をはじめ地域の皆様には、子ども達の安全・安心な登下校のためのセーフティウォッチ活動や学校教育活動への多面にわたるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも、地域の皆様や保護者の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

全校遠足、そして、春の大運動会では、上學年が下學年の手本となり、さらに、お世話をする姿、特に、六年生のリーダーとしての働きが立派です。全校が六年生を中心になるとまつていく姿が見られます。上學年が下學年の手本となる、下学年は上學年の姿を見て、ぼくたち・私たちも来年はお兄さんやお姉さんのようにになりたいという気持ちを持つ。継続することで、子どもたちによる伝統が培われています。

これも、青少年育成委員会の皆様に、子どもたちの教育活動を校外からいろいろな面で応援していただいるおかげと、感謝の気持ちで一杯です。本年度も、子ども達が「できた」喜びをより多く感じて、本校の教職員と一緒に育成活動に取り組んでいきます。



第30号

平成22年7月12日
貝塚中学校区
青少年育成委員会

「できる」ように努力することが大切です。とも言いました。そのため学校は、子ども達に様々な指導・支援をしていきたいと考えています。今年度も、子ども達が「できた」喜びをより多く感じ元気よく学び育つ活力ある学校をめざして、本校の教職員と一緒に育成活動に取り組んでいきます。



貝塚中学校
清田 正美

赤や黄色、青や紫の花に迎えられて、「この四月、貝塚中学校に赴任いたしました。どうぞよろしく願いたします。

その時のことです。部活動の生徒だと思います

ますが、明るく元気な挨拶の声が爽やかな風とともに私の緊張した心をほぐしてくれたことを覚えています。教員としても何回転勤をしてきたでしょうか。その度ごとに初めて校門に入るときの緊張は新卒の時と変わりありません。貝塚中学校の温かな様子は、「ここ」で子ども達と一緒に学んでいこうという気持ちをよりいつそう強く感じさせてくれたのです。

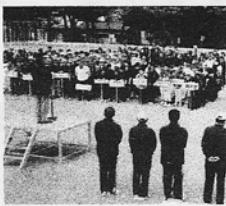
このような明るい挨拶のできる子ども達が育ち、生活する学区は、地域の皆様のご支援やご援助がたくさんあるからなのだと思います。青少年育成委員会、社会体育振興会、協力会、PTA等多くの方々のご協力で子ども達が明るく元気に育っています。心より感謝申し上げます。子どもたちがしっかりととした社会人に成長するためには、保護者や学校だけでなく、たくさんいろいろな立場の大人の関わりが不可欠です。地域の方にできるだけ声を掛けていただき、人として、住民の一人としての心掛けやルール等も学ばせていただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

**地域と学校との協力で
子どもたちの健やかな成長を**

「明るい県民づくり推進モデル地区指定・桜木小地区体育大会総合開会式」が、本年度も四月四日(土)に桜木小のグランドで多くのご来賓の皆様をお迎えして行われました。年間を通してソフトボールやサッカー、バレー、ボーリング、剣道、バトミントンなどの地域でスポーツを楽しんでいる二十以上の各団体の老若男女約三百五十名の皆さん、プラカードを掲げ堂々と入場行進する姿は圧巻でした。まさに「スポーツの町・桜木にふさわしい催しでした。

また、その後体育館では、千葉市社会福祉協議会の主催で、「健康に関する講演と楽しい健康体操」の実技指導も行われ、会場は大いに盛り上がり、有意義な行事となりました。係の皆様、ご参加されたたくさんの方々ありがとうございました。

晴れやかに堂々の行進



北貝塚小学校 交通安全教室

新年度が始まり、今年も元気に子どもたちが学校生活を送っています。北貝塚小学校では、毎年、一年生と四年生を対象に交通安全教室を行っています。交通量の多い北貝塚小学校の学区で毎日、事故なく安全に登下校できるように、また、休日や放課後を過ごせるように一年生は、安全な歩行の仕方や道路の横断の方法を、また四年生は、自転車の正しい乗り方を練習しました。実際の学習では、千葉東警察署交通課の署員の方や交通安全協会の方々が、校庭につけられた模擬道路で児童一人一人に、正しい歩行の仕方や乗

り方を詳しく丁寧に指導して下さいました。

今年度は、千葉市の小学生の交通事故が、警戒宣言が出されるほど例年になく多く発生しています。交通安全教室で学んだことをいかしながら、これからも安全に登下校や自転車の操作ができるよう、ご家庭でも話題にして下さい。



今年度の主な行事予定

- 7/21～8/31 夏休み対策活動（点検活動・巡回）
- 7/31～8/1 サマーキャンプ（青少年相談員）
- 8/1 デイキャンプ（協力会）
- 8/31 交通安全指導（福祉・交通安全部会）
- 9/18 青少年の日・家庭の日
- 10/23 貝塚中バザー
- 11/13 若葉区ブロック研修会（会場白井中）
- 12/4 地域ぐるみ一斉パトロール
- *パトロールの参加御協力お願いいたします。
- 12/23 冬休み点検活動
- 1/15～23 書き初め展開催（健全育成部）
- 3月 育成だより31号発行（広報部会）

平成22年度 育成会活動方針

貝塚中学校区育成委員会会長 小塚 興作

「親が子どもを傷つけたり、子どもが親を傷つけたり」というあってはならない悲しい事件が後を絶ちません。青少年の健全な育成を願って、地域・学校・関係団体及び公官庁との連携を密にして、日常的活動の推進を図る事を本年度の活動方針とする。具体的には以下の点に力を入れる。

- ① 豊かな個性と自立・協調の精神を育て、地域ぐるみで21世紀に活躍できる青少年の健全育成を推進する。
- ② 大人が率先して、マナーやモラルの低下を是正する努力をする。また、挨拶の励行や青少年に悪影響を与える薬物乱用等の有害環境を除去し、その浄化に努める。
- ③ 児童・生徒が接することの多い「携帯電話やインターネット」をとりまく危険性についての研修を行い、本当の恐ろしさを認識し子どもたちを被害から守る。
- ④ 「朝ごはん」をきちんと食べるなどの家庭教育の充実を図り、子育てにおける家庭教育の啓発につとめる。
- ⑤ 近所や各地域で気軽に相談できる環境作り、地域で児童・生徒の安全を守るために取り組みを積極的に推進する。

～～～活動方針④に対して中学校では～～～

朝食をとることが大切な理由

<体のリズムを整える>

もし、朝食を食べなかったら、頭も体もぼんやりしたまま午前中が過ぎて、元気が出るのは、給食を食べた後となります。夜に絶好調となり、夜更かしをしてしまい、昼食から1日のリズムが始まることになります。決まった時間に朝食を食べて、体のリズムを整えることが大切です。

<やる気と集中力が出る>

朝食を食べると、体の中で熱がつくられ調子も上がります。ところが、朝食を食べないと、体温だけでなく脳の温度も下がったままなので、眠くなつて、あくびが出たりします。

<脳にエネルギーを補給>

人間の脳は、順調に働くためのエネルギーが必要です。朝食を食べないと、給食まで脳にエネルギーがまわらず、栄養不足になってしまいます。イライラしたり、集中力が無くなったりすることも考えられます。

貝塚中の生徒の実態を見てみると、1割強の人が朝食をあまり食べていません。全国や県・市の平均より多くなっています。20・30代の人の朝食欠食が習慣化したのは小中高からだという人が三分の一を占めています。今から、朝食をきちんと食べる習慣をつくるよう話をしています。

「こども未来局」—育成委員会を所管していた「青少年補導センター」が今年度より「こども未来局」になりました。4月1日に新設した「こども未来局」では、少子化対策、要保護児童対策、青少年問題等、複雑多様化するこどもをめぐる課題に対して一的な施策展開を行っています。

青少年相談機関一覧

■ 子どもと親のサポートセンター	0120-415-446
■ 千葉県警少年センター	0120-783-497
■ 子ども・家庭110番（中央児童相談所）	043-252-1152
■ 千葉市児童相談所	043-279-8080
■ 千葉家庭裁判所	043-222-0165
■ 青少年補導センター東分室	043-237-5411
■ 市教育センター	043-285-0901
■ 少年鑑別所	043-253-7741